

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

みどり寺山保育園

横浜市緑区中山町 93-1

運営主体: 社会福祉法人 緑風福祉会

実施概要	1 ページ
総合評価 (評価結果についての講評)	2 ~ 4 ページ
評価領域ごとの特記事項	5 ~ 6 ページ
分類別評価結果	7 ~ 16 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	17 ~ 25 ページ
利用者本人調査分析	26 ~ 28 ページ
事業者コメント	29 ページ

2009 年 11 月 12 日公表

実施機関: 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	みどり寺山保育園	
報告書作成日	2009年10月15日	評価に要した期間 4ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間 2009年6月1日 ~ 2009年7月31日</p>	<p>職員会議・チーフ会議で説明後、全職員が個々に、評価記入。個々の評価を基に、乳児はクラス毎、幼児は3学年で話し合い、まとめる。</p> <p>各クラスチーフと主任で評価項目に対する意見、評価後の感想などをディスカッションする。</p> <p>職員の評価と園長の評価を基に園長と主任で最終的にまとめあげる。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 2009年7月15日 ~ 2009年7月31日</p>	<p>全園児の保護者に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡して配布した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日: 第1日 2009年9月4日 第2日 2009年9月8日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。園長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスと2歳児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名、栄養士1名、非常勤職員1名に個別に面接調査。 その後、園長・主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日: 第1日 2009年9月4日 第2日 2009年9月8日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

みどり寺山保育園は、JR・市営地下鉄グリーンライン「中山」駅から徒歩5分のところにあり、緑区市民活動支援センターと隣接しています。保育園の前は交通量の多い広い道路となっていますが、少し歩くと近くにある四季の森公園までの遊歩道が続き、子どもたちの園外活動にとって恵まれた環境となっています。

園舎は、軽量鉄骨造りの平屋建てです。年齢別の保育室と給食室がホールを囲むように配置され、天井の高いホールが園全体をゆったりとした居心地のよい空間にしています。園庭に出るテラスは板張りが広がり、子どもたちの出入りの際に余裕がある作りとなっています。園庭は広くありませんが、隣接している市民活動支援センターの広場を、第2の園庭の様に活用しています。

当園は、平成18年4月に開設され、運営は社会福祉法人緑風福祉会が行っています。

定員は120名（0～5歳児）で、平日の開園時間は午前7時～午後8時、土曜日は午前7時～午後3時です。

園の保育方針は、「広い目で子どもの本当の姿を見つめ、温かい目で子どもを伸ばす方法を考え、長い目で教育の効果をみまもる」と挙げています。また「豊かに伸びていく可能性をその内に秘め、その子どもたちが、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくりだす力の基礎をつちかい、乳幼児に適した施設の中で乳幼児が団体生活に慣れさせ、その生活を通して心身とともに健康で自由性と創造性に富む人間性の豊かな子どもに育てることと共に親心をもって『しつけ』のよい明るい気品のある人柄をつくること」を保育目標に挙げています。

高く評価できる点

1、子どもたちは基本的な生活習慣が身についています

子どもたちは、乳児クラスでも、自分でできることは自分で行っています。保育士は、「自分で出来た」という達成感を感じられるように、促したり、応援したり、誉めたりしながら支援しています。2歳になるころには、着替えやトイレなど、ほとんどの身の回りのことは自分でできるようになっています。

一日の生活の流れに沿った、場面展開ごとのピアノの音や音楽、お決まりのかけことばをしっかりと覚え、生活のリズムと基本的な生活習慣が自然と身についています。席を立つときにはイスをしまう、使ったタオルは片付けるなどの日常マナーが身につけられており、保育目標に挙げている“『しつけ』のよい明るい気品のある人柄をつくること”が実践されています。

2、職員は、連携しながら意欲を持って保育に取り組んでいます

職員の入替わりが多い時期もありましたが、経験や知識の豊富な職員が多く、連携の取れた丁寧な保育が実施されています。

日々の保育の中で互いに声かけをしながら、午睡時には必要に応じてミーティングを開くなど、前からいる職員と新しく入った職員がみどり寺山保育園としての均一の保育が提供できるように務めています。

また、それぞれの職員のモチベーションは高く、会議の時間を使い研修を行ったり、外部の研修や大会へ積極的に参加したり、仲間の保育士からお互いに学び取りながら意欲を持って保育を行っています。

日々の保育の中では、子ども一人ひとりの発達について、会議で共有し、担当クラスの枠にとらわれず保育士同士で声をかけあいながら、子どもたちを見守り、必要に応じて支援をしています。

主任は、全体の動きを見ながら、計画の見直しや保育士の配置などについて適切に対応し、職員全体の連携が取られています。

独自に取り組んでいる点

1、ワーク（知育教材）の活用と、遊びや行事を通した体験学習に力を入れています

発達段階に沿ったカリキュラムを組み、健康・人間関係・環境・言葉・表現の5領域をふまえて、遊びや行事を組み立て、年齢に応じて、絵画・造形、言葉、数の学習を取り入れています。

例えば、運動会では、乳児クラスはクラス毎にテーマになる物語を決め、日々の保育の中にも、物語と連動させた遊びの中で、知識や表現力を徐々に身につけられるように支援していきます。子どもたちは、多くの体験を通して知識や表現力を学ぶとともに、集団のルールを身につけています。

幼児クラスでは、園児一人ひとりにワークがあり、就学までの間に、小学校で必要な知識を無理の無い計画で学習しています。

このような取り組みは、系列園でも早くから取り組んでおり、園では、今後の幼保統一の流れにも対応できると考えています。

さらなる取り組みが期待される点

1、保護者とのさらなる連携が期待されます

園では、系列園での参加状況や保護者からの要望などの実績をふまえ、保護者の負担を考慮してクラス懇談会や個人面談は行っておりません。しかし家族アンケートを見ると、「園と保護者との連携・交流」についての設問において、満足度が低く、なかでも「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」について不満を感じている保護者が多くなっています。

意見欄には、“保護者会、懇談会などがなく、保護者の負担が少ないことに感謝している”“子どもの様子をよく見てくれていて、送り迎えの時に伝えてくれる”という記述が複数ある一方、“子どもの園での様子を聞きたい”“情報の共有ができない”“保護者同士の交流のきっかけが無い”“園への要望を伝える機会が無い”などの意見が出ています。

保護者会や懇談会など、負担とは感じながらも園での子どもの様子は知りたいと思う、保護者の気持ちを受け止めると共に、園の方針や取り組みについて保護者の理解を促す為に、改めて保護者との連携の取り方や、保護者の意見を吸い上げる方法を再考することが望まれます。

保護者とのさらなるコミュニケーションを深め、保護者との連携を強化することで、「入園のしおり」に挙げている“保護者の方と保育園が車の両輪となり、自己を十分に発揮できる乳幼児を育成しましょう”という言葉が実践されることを期待します。

2、マニュアルの共有と、見直し・整備に全職員が関わる体制づくりが望まれます

管理運営規定等が整備され、園長・主任が保管し、運営・指導にあたって活用しています。緊急・重要な情報などは職員室や保育室に掲示していますが、全職員にマニュアルを周知し、見直しを行うには至っておりません。多数の職員の異動があったにも関わらず、スムーズな対応がなされていますが、経験や知識の豊富な職員に負うところが多いと感じられます。

今後の保育の質の向上と内容の均一化の為に、必要最低限の情報提供だけでなく、関係する職員が、マニュアルの見直しに関わり、定期的に全職員に周知する仕組みづくりが望まれます。全職員に周知し、見直しにも関わることは、業務の振り返りの機会にもなり、業務理解の浸透や改善案の提案などによる業務改善や危機回避などに繋がると考えられます。

3、専門性を活かした地域子育て支援や地域コミュニティへの働きかけが望まれます

園は、緑区の子育て支援事業である「みどりっこまつり」などの行事に積極的に参加するほか、他園からの相談も受けるなど、地域子育ての支援に務めており、施設見学時には子育てについての相談を受ける事もあります。

しかし、園庭が狭い、近隣に緑区委託の“親と子のつどいの広場”がある、などの事情から、園庭開放や定期的な育児相談などの地域支援事業は行っていません。

今後、園として専門性を活かし、地域のニーズに応じた子育て支援や地域の未就園児との交流などを検討することが望まれます。

評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

1、人権の尊重

- ◇ 保育方針「広い目で子どもの本当の姿を見つめ、温かい目で子どもを伸ばす方法を考え、長い目で教育の効果のみまもる」及び保育目標「親心をもって『しつけ』のよい明るい気品ある人柄をつくる事を目的としています」等を掲げ、全職員理解のもと、子ども本人を尊重した保育が実践されています。
- ◇ 「何時までに」という目標を設定し、励ましの声かけをするなど、分りやすい言葉で子どもに接しています。
- ◇ 個人情報の取り扱いについて「個人情報管理規定」や「保育園職員の心得」の中に記載し、全職員に周知しています。クラス名簿については、住所や連絡先を入れないことや個人情報の取り扱いについて保護者に説明をし、了解を得ています。
- ◇ 虐待については「虐待判定基準表」を職員室に掲示し、虐待の定義が全職員に周知されるよう取り組んでいます。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 保育士は子どもに歌のリクエストを聞くなど、子どもの意見を汲み取り自主性を尊重しています。
- ◇ 子どもたちは乳児の時から発達に応じて自分でできることは自分で行っています。
- ◇ 保育士は、子どもが「自分でできた」という達成感を感じられるように支援しています。
- ◇ 一日の生活の流れにそって、場面ごとにピアノや音楽、お決まりのかけことばを使うことで、楽しく生活のリズムと基本的な生活習慣が身につくように支援しています。
- ◇ 土曜日の合同保育（異年齢児保育）、週一回の交流給食やクッキング保育など、定期的に異年齢児間で交流する機会を作っています。
- ◇ 食事の前に食べ物や調理をした人に感謝をし、合掌をしてから食事をしています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 園の方針や目標の実現に向かって、保育計画と年間指導計画は園長と主任が作成しています。それをもとに各クラスの担任は、月間指導計画と週案を作成し、最終的にチーフ会議や職員会議を通して決定しています。
- ◇ 0～2歳児については毎月、個人別にねらい・目標を設定し、それに対する記録をとっています。
- ◇ 幼児は、期毎に個人別の記録をとって児童票ファイルに保管していますが、特別な課題がある幼児についての個別指導計画はありません。今後の取り組みが期待されます。
- ◇ 会議は、月一回の職員会議、月二回のチーフ会議と随時行われる幼児組会議があります。また、乳児クラスはクラス別に勉強会をしています。
- ◇ 各種マニュアルが整備されています。園長・主任が保管し必要に応じて掲示していますが、全職員には周知されていないマニュアルもあり、今後の取り組みが期待されます。
- ◇ 保護者の要望や意見は、日々の送迎時、連絡ノートや意見箱で聞いていますが、家族アンケートでは不満の声が上がっています。懇談会や個別面談などの方法を話し合うなど、新たな取り組みが望まれます。

4、地域との交流・連携

- ◇ 園は、緑区の中で推進役となり、地域子育て支援として「みどりっこまつり」などの行事に積極的に参加しています。
- ◇ 不定期に一時保育を行っていますが育児相談や園庭開放は行っていません。今後、専門性を活かし、地域のニーズに応じた子育て支援等の検討が望まれます。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 守るべき法・規範・倫理等は「就業規則」や「保育園職員の心得」等に記し、職員に配付すると共に、職員は遵守しています。
- ◇ 重要な意思決定や変更はまだありませんが、職員会議やチーフ会議で取り組んでいく体制になっています。
- ◇ 園長は、入園説明会で園の保育方針等の重要事項を保護者に伝えています。
- ◇ 中長期計画はありませんが、園長は次世代に合う保育の仕方を常に検討しています。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 園の理念等に沿った人材を育成するため、保育方針等を事務室に掲示するだけでなく、年間指導計画や食育年間計画にも明示し、あらゆる職種の職員に周知されるように工夫しています。
- ◇ 年間 10 件程度の外部研修に参加し、園内でも必要に応じて研修を行っていますが、研修の計画や人材育成計画は策定していません。
- ◇ 職員個々に毎年目標を定め達成度を評価する、人事考課制度を取り入れています。
- ◇ 幼児組会議では、外部研修や他で得た工夫事例などを持ち帰り、互いに学びを深めています。
- ◇ 乳児クラスでは、クラス毎に勉強会をするなど、共に知識を深めています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。





「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育方針「広い目で子どもの本当の姿を見つめ、温かい目で子どもを伸ばす方法を考え、長い目で教育の効果をみまもる」、及び保育目標「親心をもって『しつけ』のよい明るい気品のある人柄をつくる事を目標としています」等は、子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しています。 ・ 保育方針等は、事務室に掲示されているだけでなく「年間指導計画」や「食育年間計画」にも明示し、あらゆる職種の職員に周知されるように工夫しています。 ・ 保育計画は、就労時間の長い保護者に配慮し、子どもの基本的な生活習慣の習得に力を入れて作成しています。 ・ 保育計画に基づき、年齢毎に「年間指導計画」「月間指導計画」「週案」を立てています。 ・ 行事の練習内容、散歩の場所、公園でのルールや給食のメニューなど必要なことを子どもにきちんと説明し、時には歌のリクエストを聞くなど、子どもの意見を反映させています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年3月に入園説明会を実施しています。説明会は「入園のしおり」に沿って行われ、園長が保育方針、保育目標や布オムツの話をしています。その間、保育士は子どもを預かり、子どもの発達を観察しています。 ・ 例えば食物アレルギーの状態など、「入園準備前アンケート」等で把握した内容に応じて保護者に面接しています。 ・ 新入園児受け入れにあたっては、子どもの立場を最優先に考え、ならし保育（短縮保育）を全ての子どもに実施しています。 ・ 各クラス担任は「保育計画」や「年間指導計画」に基づき、子どもの発達状況を話し合い、「月間指導計画」と「週案」を作成しています。各クラスで作成されたこれらの指導計画は、チーフ会議や職員会議を通して決定され、職員全体に伝えられています。

- 3 快適な施設環境の確保



- ・ 3年前に新設された園舎は、平屋建てで広く開放的なつくりになっており、毎日の清掃により、床だけでなく窓や壁も常に清潔に保たれています。
- ・ 天井に設置されているサーキュレーター、エアコンや乳児クラスの床暖房など、季節に応じて適切に各保育室の温度管理がなされています。
- ・ 沐浴設備は0・1歳児クラスに隣接し、温水シャワーが設置されています。
- ・ どのクラスにもブロックがあり、子どもたちは朝の自由時間にブロックを床やゴザに広げて遊んでいます。低年齢児に対しては、その日の保育内容に合わせてゴザやクッションを用い、小集団保育が行われるように工夫しています。
- ・ ホールを中心に2～5歳児の各保育室が設置されていることもあり、ホールは異年齢児の交流の場として活用されています。また、土曜日の合同保育(異年齢児保育)、週1回の交流給食やクッキング保育、一緒に散歩に行くなど、定期的に異年齢児間で交流する機会を作っています。

- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・ 0～2歳児については、毎月個人別にねらい・目標を設定し、それに対する記録をとっており、書式は発達の段階に合わせて異なるものを用いています。
- ・ 特別な課題がある幼児について、期毎に個人別の記録を取り、指導方法について常に考えていますが、個別指導計画を作成していません。
- ・ 子ども一人ひとりの成長の記録は、「入園状況書」や「児童票」と共に、クラス毎の「児童票ファイル」に綴じています。記録は日頃の保育や年度末の申し送りで活用しています。

- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み





- ・ 特に配慮を要する子どもや障がい児の個別ケースについては、月2回のチーフ会議で話し合い、会議録がファイリングされています。また、随時行われる幼児組会議でお互いの保育方法について学び合い、日常の保育に活かしています。
- ・ 障がい児を受け入れています。
- ・ 園の敷地にはスロープや車椅子に配慮したトイレもあり、バリアフリーの環境が整っています。
- ・ 障がい児保育について、保護者の同意を得て、北部地域療育センターの専門家より助言を受ける体制を取っています。助言に基づき、保育士は対応方法を実践していますが、個別の指導計画は作成していません。
- ・ アレルギー疾患のある子どもについては、かかりつけ医の指示書のもと、定期的に保護者と面談を行い、代替食を提供しています。
- ・ 外国籍の子どもに対して、文化や生活習慣、考え方の違いを認め、給食では宗教食に対応しています。




- 6 苦情解決体制



- ・園の玄関には、苦情受付に関する掲示物やご意見箱があり、入園説明会でも苦情の申し立て方法について説明をしています。
- ・第三者委員については、入園のしおりや掲示物に氏名を明記していますが、苦情は直接園に言ってほしいという考えがあり、第三者委員の連絡先は記載していません。
- ・家族アンケートの「園と保護者との連携・交流」について、不満の声が上がっています。意見を表明するのが困難な保護者に対して、意見を述べやすい環境作りが今後期待されます。
- ・苦情解決マニュアルなどを整備し、苦情解決の体制や手順を明確にしています。
- ・苦情として扱った保護者意見はこれまで出ていません。しかし苦情に限らず、些細な意見や要望についても蓄積・整理し、会議で話し合われるような体制作りが望まれます。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏には、園庭に大小のプールを設置し、乳児と幼児がそれぞれの発達に応じて水遊びができるような工夫をしています。 ・ 保育士は、園庭で遊んでいた子どもが遊びに飽きたころに新しい遊びを提案するなど、子どもが興味や関心を持つように援助しています。 ・ 散歩は四季の森公園などに行き、すれ違う人と挨拶をしながら、歩いています。公園の管理の方にも全員で挨拶をし、帰る時にも声をかけるなど日常的に地域の大人と挨拶・会話をしています。 ・ 自由遊びの時間に、5歳児は太鼓や鍵盤ハーモニカを取り出し、自発的に運動会で演奏する鼓笛隊の練習をしている姿が見られました。 ・ 園外保育は、異年齢クラスと合同で行うことがあります。異年齢で行うことにより、小さい子どもは、もっと頑張ろうという気持ちが持てることを大切にしています。 ・ 園外活動は年に1回ズーラシアに行き、春には相撲大会、夏は盆踊り、冬には餅つき大会やたこあげ大会、緑区公会堂を借りて行うリズム発表会があります。
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の配膳は保育士と栄養士、当番の子どもで行います。果物やスプーンなどは手袋をして配っています。また、食事のときは食器を手で持つ、お腹をテーブルに付けるなど、こぼさず食べるようマナーを教えています。 ・ 献立表は事前に保護者に配布しています。 ・ 調理を行う職員は全員が栄養士であり、献立は栄養士全員で話し合い、案として出したものを職員会議の中で再度話し合い、決定しています。 ・ 午睡の準備ができると、子どもは布団のところに座り、保育士が絵本を読んで聞かせています。午睡の間は静かな音楽をBGMとして流し、眠れない子どもは静かに布団の中で過ごすなど休息を促しています。5歳児は入学準備として、3学期になると午睡を一斉活動としていません。 ・ 乳児は布おむつを使用していますが、園外保育で遠距離の移動があるときや体調が悪い子どもには紙おむつを使用するなど必要に応じて個別に対応しています。 ・ 毎月行われるお誕生会は、バイキング形式にするなど、食事を楽しむ雰囲気作りに配慮しています。

<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理に関するマニュアルは「健康管理保健計画」となっています。 ・ 毎月行う身体測定で、子どもの健康状態を把握しています。既往症については、チーフ会議において全職員に周知されています。 ・ 年1回行う歯科検診で、4・5歳児は赤染めを毎年実施しています。5歳児には6歳臼歯の話聞く時間を設けるなど歯磨きの意識を高めています。 ・ 園内や地域で感染症が発生した場合は、園の入り口やホールに掲示するなど保護者へ情報の提供をしています。また、感染症についての注意事項や症状なども保育室に掲示し、保護者へ感染症についての必要な情報を提供しています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生管理マニュアルは「消毒薬の使用について」となっています。 ・ マニュアルの内容は、チーフ会議で伝えていますが、マニュアルの見直し、全職員の共有を図ることが望まれます。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理のマニュアルがあり、そのほかに、事務室のモニターの横にある「保育士資質向上マニュアル」には不審者等の対応についての記載があり、職員に周知されています。 ・ 玄関に置いてあるげた箱は、床から止めるなど転倒防止をしています。 ・ 地震訓練、火災訓練は行っていますが、緊急時の連絡体制など緊急時の対応の強化が望まれます。 ・ 保護者のアンケートより、延長保育サービスのお迎えのときに鍵が開いていることがあるとの声がありました。不審者侵入を想定してのマニュアルの見直しや職員へ施錠の徹底がされるよう改善が望まれます。 ・ 救急救命法の研修に参加していますが、全職員への周知や継続的な研修への参加が望まれます。 ・ 子どものケガについては、記録表に記入し、遅番の保育士にも情報を伝達しています。記録表には、保護者への報告の有無もされていますが、再発防止のための話し合いを行うことが望まれます。

- 3 人権の尊重





- ・ 保育中、子どもをせかしたり強制したりせず、「何時までに」など目標を設定したり、「頑張れー」と励ましの言葉をかけるなど、おだやかで分かりやすい言葉を使うように心がけ、子どもの人格尊重を意識しています。
- ・ 必要に応じて、保育室内や職員室にマットを敷いてコーナーを作るなど、子どものプライバシーを守れる場所を用意することができます。
- ・ 個人情報の取り扱いについて、「個人情報管理規定」や「保育園職員の心得」の中に記載があり、全職員に周知しています。
- ・ 「虐待の判定基準表」を職員室に掲示するなど、虐待の定義が全職員に周知され、必要に応じて、児童相談所などの関係機関に迅速に相談・通告する体制があります。
- ・ 無意識に性差による固定観念で保育をしないように、採用したときに園長から保育士に伝え、日常の保育の中で気がついたときには職員同士で注意し合っています。また、保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえず、子どもの保護者として家族が対等に協力する事が大切であることを説明しています。

- 4 保護者との交流・連携






- ・ 入園時に配布する園のしおりに保育方針を明記し、行事のお知らせにその目的などを記載するなど保育方針が保護者に理解されるよう努力しています。
- ・ 乳児は連絡帳を使い、幼児は通常はホワイトボードで園での子どもの様子を伝えています。また、送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるように配慮し、保護者との情報交換を実施しています。
- ・ 行事の際に、クラス単位で集まり、クラス全体の様子を保護者に伝えるようにしていますが、個別面談やクラス懇談会は、園としては保護者の負担が大きいと考えて行っていません。今後、意見や要望を伝えにくい保護者の要望も汲み取れているか、情報が十分に保護者と共有できているかなどについて、保護者の意向を確認しながら、さらに園と保護者の連携を深めていくことが望まれます。
- ・ 保護者からの相談を受けた職員が適切に対応できるよう、主任や園長から助言が受けられる体制があり、相談の内容や対応は記録し、継続的にフォローしています。
- ・ 園だより「さくらんぼつうしん」を定期的に発行し、月の予定やクラス毎の月のねらいを記載し、降園時には、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示するなど、保護者に向けて園の情報を提供しています。
- ・ 保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすいように、年間行事予定であらかじめ日時を知らせています。詳細情報の伝え方とその時期については保護者の意見を聞きながら検討することが望まれます。
- ・ 保護者が自主的な活動をできるように、卒業時の謝恩会でホールを開放しています。また、準備の為に空いている保育室等の場所を提供しています。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑区主催の「みどりっこまつり」などに積極的に参加し、地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握したり、地域住民に向けて子育てや保育に関する講習を行ったりしています。 ・ 地域住民に対して、園庭開放、定期的な育児相談等はありません。園庭が狭い、近隣に“親と子のつどいの広場”があるなどの事情はありますが、今後、地域のニーズに応じて施設の専門性を活かした子育て支援のあり方を検討することが望まれます。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民への情報提供や育児相談は、施設訪問の際に要望があれば応じています。 ・ 育児相談については、定期的に相談日を設けていません。 ・ 関係機関との連携については、園長が担当し日常的な連携を行っています。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会などの園の行事に、お世話になっている地域住民を招待したり、町内会の七夕祭りに協力したり、地域の団体、機関と交流を図っています。 ・ 日常、地域の人たちと接する機会（散歩・買い物等）に積極的に交流を図り、地域の人たちも園児に対して親しみを持って接してくれています。 ・ 地域への施設開放や備品等の貸し出しは行っていません。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市のホームページ「はびねすぽっと」や緑区の子育て支援情報誌「みどり子育て応援ガイドブック」等に園の情報を提供しています。 ・ 問い合わせや見学希望者に対して担当者が園の基本方針や利用条件・サービス内容等について説明しています。 ・ 利用希望者の見学を受け入れ、園の様子を理解できるよう対応しています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明しています。 ・ 実習受入の為のマニュアルがあり、学校との協議の上で、実習目的に応じた効果的な実習が行われるように保育士同士で意見交換しながら、プログラム等を工夫しています。 ・ 最後に反省会を開催し、実習生と職員との意見交換の機会を設けています。さらに、ボランティアの意見も外部からの視点として受け止めることが望まれます。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開園4年目の園で、職員の入替わりが多い時期もありましたが、経験や知識の豊富な職員が多く、新任の保育士をフォローする体制があり、連携の取れた丁寧な保育が実施されています。 ・ 理念や方針に沿った人材を育成するため、職員個々に毎年目標を定め達成度を評価する、人事考課制度を取り入れています。人材育成計画は策定していません。 ・ 職員の研修ニーズを把握し、年間10件程度の外部研修に参加しています。園内でも必要に応じて研修を行っていますが、事前に研修の計画は策定していません。また、研修の成果を評価して、研修内容を見直す仕組みはなく、研修体制の確立が望まれます。 ・ 非常勤職員に対してはクラスチーフ指導のもと実地研修を行っています。また、各保育室に一日の流れと週案、月間指導計画などが掲示してあり、必要な情報が一目で把握できるようになっています。 ・ 派遣社員の資質向上のための研修は、雇用形態の関係上、必要範囲にとどめています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員会議や幼児組会議などで、個々の保育の方法を話し合う機会があり、職員個々のスキルの問題として自己点検を行っています。 ・ 幼児組会議では、外部研修や他で得た工夫事例などを持ち帰り、互いに学びを深めています。また、スキルの段階に併せて保育技術の底上げを行っています。 ・ 乳児クラスではクラス毎に勉強会をするなど、共に知識を深めています。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職種や役職別の業務内容は、「職員職務分担表」に明文化されています。 ・ 月間指導計画や週案、日々の保育については、現場の職員に権限を委譲し、責任を明確にしています。 ・ 職員からの提案は日常的にされ、職員のやりがいを高めています。 ・ 園長は年一回、全職員と個別面談を行っています。個別面談では、職員の希望や目標、反省を把握しています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 守るべき法・規範・倫理等は、「就業規則」「保育園職員の心得」等に記され、職員に配付されています。 ・ 各保育室と事務室に、「保育のころ・あ(愛情)い(意欲)う(美しい言葉)え(笑顔)お(おもいやり)」が掲示されています。これは園長が考え出したもので、職員全員に周知され、実行しています。 ・ 環境への配慮は、就職時配付される「保育園職員の心得」に明文化されています。 ・ 園の給食で出た牛乳パックでイスを作ったり、卵のパックを作品展用に取っておくなど、遊具や制作へリユースしています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念等は、事務室に掲示されているだけでなく「年間指導計画」や「食育年間計画」にも明示され、あらゆる職種の職員に周知されるように工夫されています。 ・ 保育理念等は、就職時に職員に説明していますが、定期的な説明や、理解度の確認はしていません。 ・ 開園以来、大きな変更や意思決定事項はありませんが、意志決定事項が発生した場合は、職員会議やチーフ会議で取り組んでいく体制になっています。 ・ 主任は定期的に保育室の状況を確認することで、主任は個々の職員の心身状況を把握し、日常的に職員に助言すると共に、相談に応じています。 ・ なお、主任を育成するプログラムは策定されておらず、今後の取り組みが望まれます。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会など4団体に加入し、全国レベル、市レベルの情報収集に努めています。 ・ 園長は横浜市社会福祉協議会保育福祉部会の副部会長を務めています。そのため最新情報の入手が早く、必要な情報や改善課題は、直近の会議で共有し、全体での取り組みとしています。 ・ 園長は、「しつけ」や「日本の伝統やマナー」を、小さいうちから子どもに経験させたいと考え、次世代に合う保育の仕方を検討していますが、中長期計画の策定には至っていません。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2009年7月15日～7月31日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 約55.9%（102枚配付、57枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...7人、1歳児クラス...7人、2歳児クラス...11人、3歳児クラス...14人、
4歳児クラス...7人、5歳児クラス...11人

ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

文中の「満足」「満足度」は、「満足」「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、
「不満」は、「不満」「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

設問ごとの特徴

【問1】保育園の基本理念や基本方針について

理念や基本方針を知っている保護者は65%程度です。そのうち90%近くの保護者が、「賛同できる」「ほぼ賛同できる」としています。意見欄には、“「入園のしおり」で読み、知っている”という記述があったほか、「しつけ」に関する意見が数件上がっています。

【問2】入園時の状況について

入園時に関する全6問の満足度は50～65%位で、半数程度の保護者が満足しています。

「見学の受け入れについて」は、40%近くの保護者が「その他」を選択しており、“新設園のため見学していない”や“見学していないのでわからない”という記述が多く上がっています。

「費用やきまりに関する説明について」は、30%近くが不満を感じており、説明の機会を要望する意見が上がっています。

また、意見欄には“細かく説明して下さいました”“給食の先生とも何度も話し合うことができ、本人に合うよう対応して頂けた”という記述がある一方、“入園前に面接がなかったので、少々不安がありました”という意見や、慣らし保育の期間短縮についての要望が数件上がっています。

【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事についての説明」は80%近くの保護者が満足しています。一方、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」については30%以上の保護者が不満を感じています。

意見欄には、“行事は多くどれも本格的”“いつも大変楽しませて頂いている”“生活にメリハリが出来る”“年度の初めに予定表が配付される”という肯定的な意見が多い反面、“行事に必要なものを土日はさまずに言われて、間に合わない”や“保護者の要望を伝える機会が少ない”という意見が数件上がっています。

【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」に関する全6問は、70～80%前後の満足度となっています。

この中で満足度が80%以上の項目は、「クラスの活動や遊びについて」と「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているか」です。また、「戸外遊びを十分にしているか」は30%に近い保護者が不満を感じています。遊びに対する保護者の要望は多く上がっており、その半数近くが散歩に対する要望となっています。

「生活」に関する全7問のうち、「給食の献立内容」と「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」

について、90%以上の保護者が満足しています。なかでも、「給食の献立内容」は95%程度の満足度となっており、全設問の中で最も満足度が高い設問となっています。

保護者の意見は様々で、“給食は充実している”“スプーンやフォークをしっかりと使えるようにつけてもらえてありがたいです”“しつけについては、きちんとしていただいている”という肯定的な意見がある反面、“厳しすぎる”という意見や、トイレトレーニング・布オムツの負担に関する意見が上がっています。

【問5】快適さや安全対策などについて

「落ち着いて過ごせる雰囲気」は90%以上、「施設設備」については85%以上の満足度となっています。意見欄には、不審者対策に関する意見が中心に上がっています。

【問6】園と保護者との連携・交流について

満足度は設問ごとに大きなバラツキがあります。

「園の行事の開催日や時間帯への配慮」は80%以上の満足度になっており、「園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供」、「子どもに関する重要な情報の連絡体制」や「保護者からの相談対応」は70%前後の満足度になっています。

一方、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」、「送り迎えの際の子どもの様子に関する情報交換」や「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」の満足度が50%程度に抑えられています。なかでも「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」は50%以上の保護者が不満を感じており、全設問のなかで最も不満足度の高い設問となっています。

意見欄には、“よく対応していただいていると思います”という記述がある一方、懇談会や個別面談、保育参観の要望が多数上がっています。

【問7】職員の対応について

満足度は設問ごとにバラツキがあります。

「子どもが大切にされているか」と「子どもが園生活を楽しんでいるか」は共に85%前後の満足度となっています。一方、「意見や要望への対応」については、30%以上の保護者が不満を感じています。

意見も設問ごとにバラツキがみられ、“みなさん優しく、時には厳しく子どもと接して頂いているようで、子どもも先生が大好きです”というような好意的な意見と、“忙しそうで話しにくい”や、職員対応の個人差を指摘する意見が出ています。

【問8】保育園を総合的に評価すると

総合満足度は約80%です。

【問9】園への要望など

アンケートにご回答頂いた保護者の約60%が園への要望を記述しています。複数意見では、“土曜保育の申請方法変更のお願い”“昼寝ふとんの持ち帰りについて”“TV観賞についての懸念”“個別面談の実施”や“職員退職についての不安”などが記述されています。

まとめ

◇ 満足度が高かった点

「給食の献立内容」、「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」と「子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか」について90%以上の満足回答が寄せられました。全体的に、保育生活の項目や施設の快適さに対する満足度が高くなっています。

◇ 満足度が低かった点

「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」、「送り迎えの際の子どもの様子に関する情報交換」について50%前後の保護者が不満を感じています。全体的に、園・保護者との交流の項目の満足度が低くなっています。

◇ 意見・記述欄より

具体的でかつ多様な要望が出ています。中でも多いのが、「個別面談」「保育参観」「懇親会」など、園と保護者の連携・保護者間の交流を望む声となっています。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

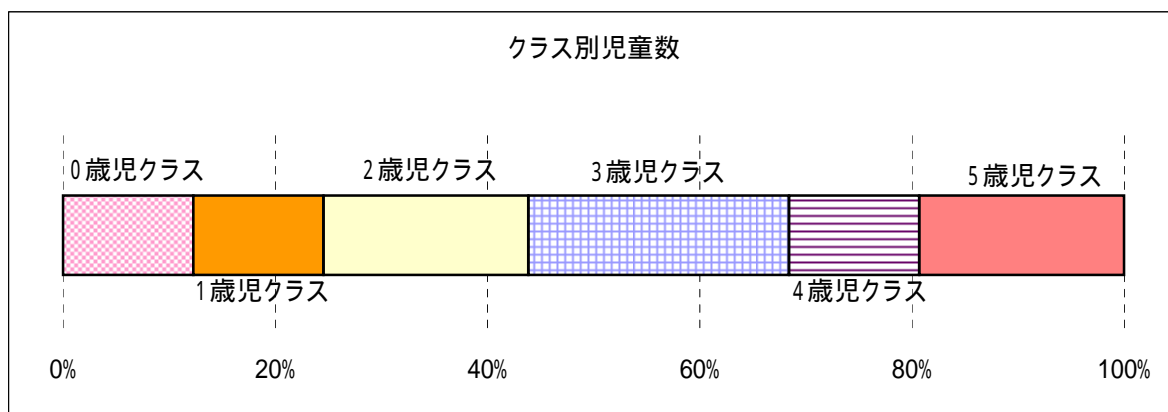
実施期間： 2009年7月15日～7月31日

回収率： 55.9%（回収 57枚 / 配布 102枚）

【属性】

クラス別児童数							（人）
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
57	7	7	11	14	7	11	0

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どもで記入



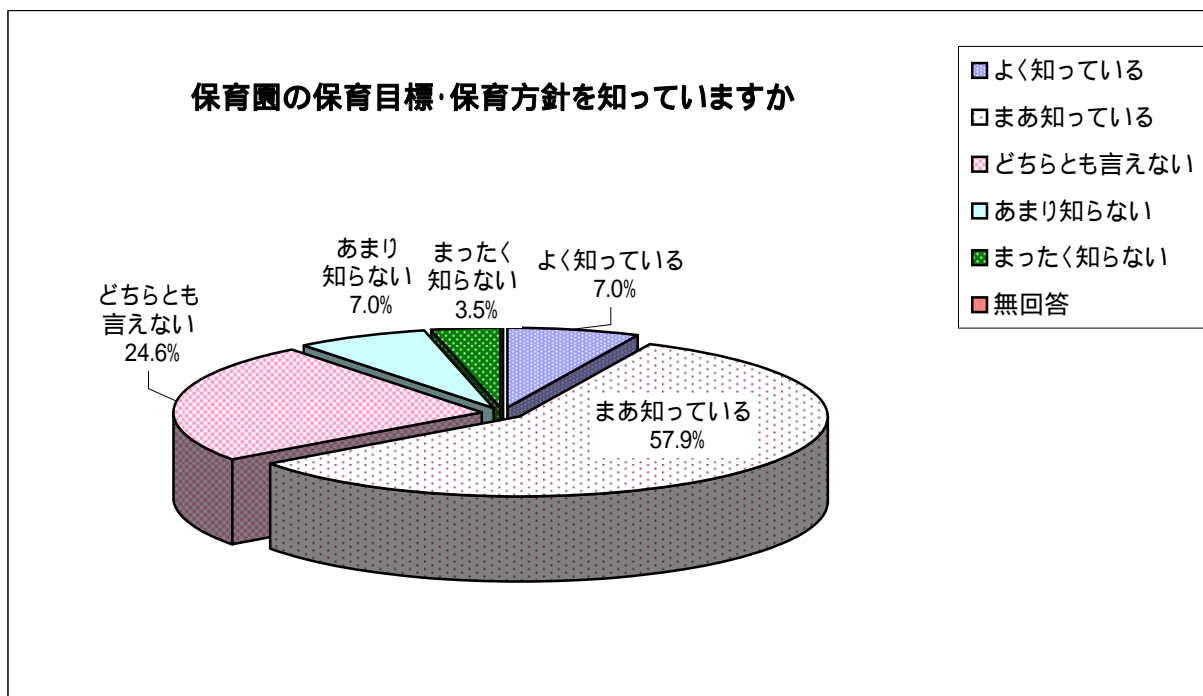
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	7.0	57.9	24.6	7.0	3.5	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

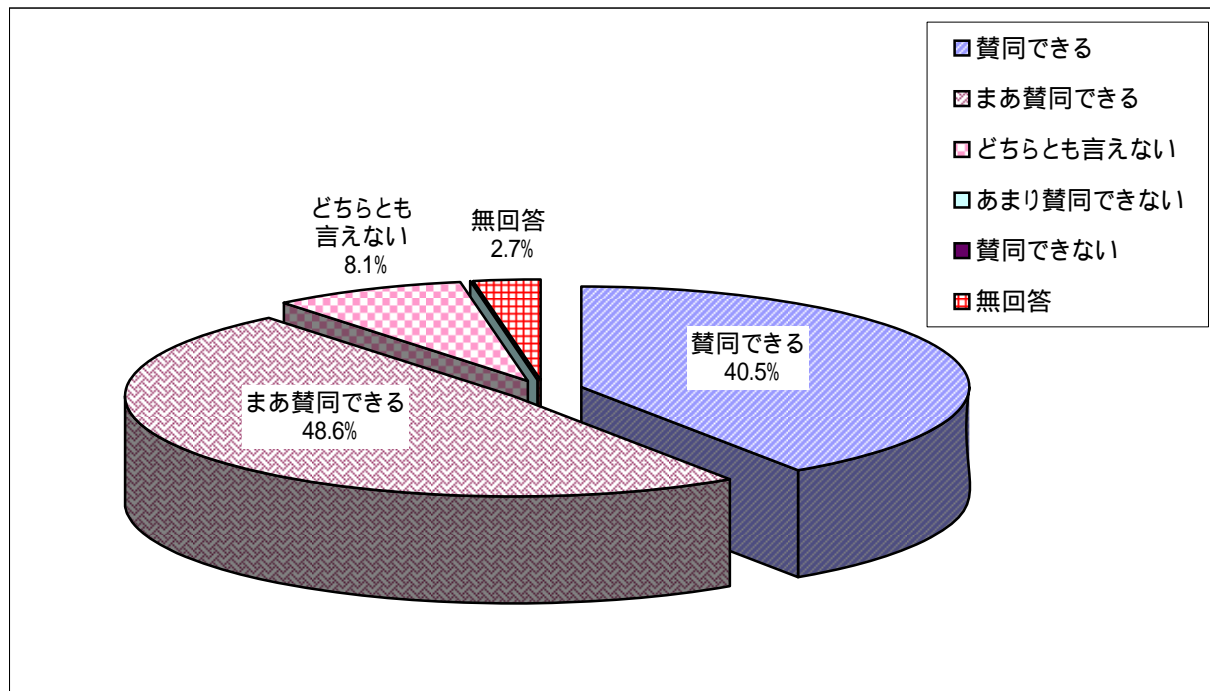


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	40.5	48.6	8.1	0.0	0.0	2.7	100



保育園のサービス内容について

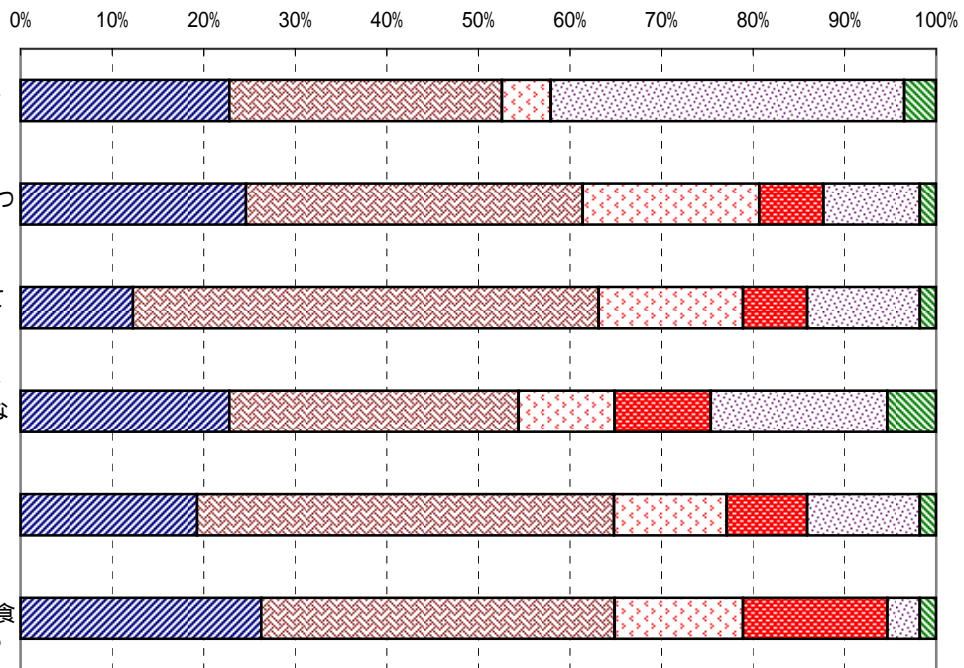
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	22.8	29.8	5.3	0.0	38.6	3.5	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	24.6	36.8	19.3	7.0	10.5	1.8	100
園の目標や方針についての説明には	12.3	50.9	15.8	7.0	12.3	1.8	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	22.8	31.6	10.5	10.5	19.3	5.3	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	19.3	45.6	12.3	8.8	12.3	1.8	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	26.3	38.6	14.0	15.8	3.5	1.8	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



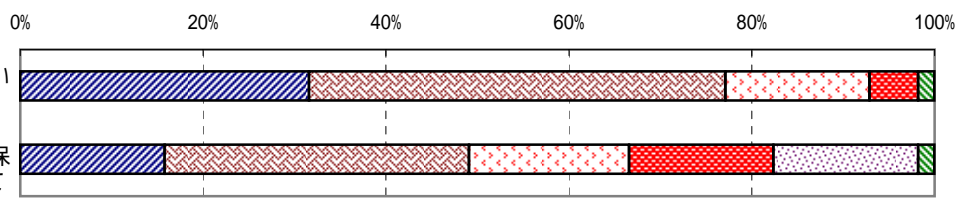
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	31.6	45.6	15.8	5.3	0.0	1.8	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	15.8	33.3	17.5	15.8	15.8	1.8	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

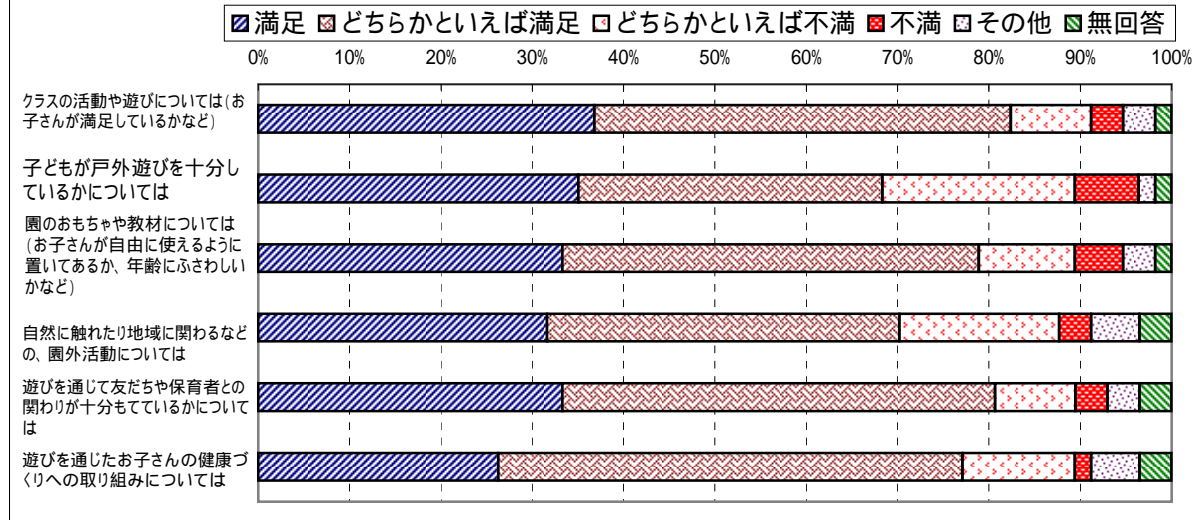


問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	36.8	45.6	8.8	3.5	3.5	1.8	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	35.1	33.3	21.1	7.0	1.8	1.8	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	33.3	45.6	10.5	5.3	3.5	1.8	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	31.6	38.6	17.5	3.5	5.3	3.5	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	33.3	47.4	8.8	3.5	3.5	3.5	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	26.3	50.9	12.3	1.8	5.3	3.5	100

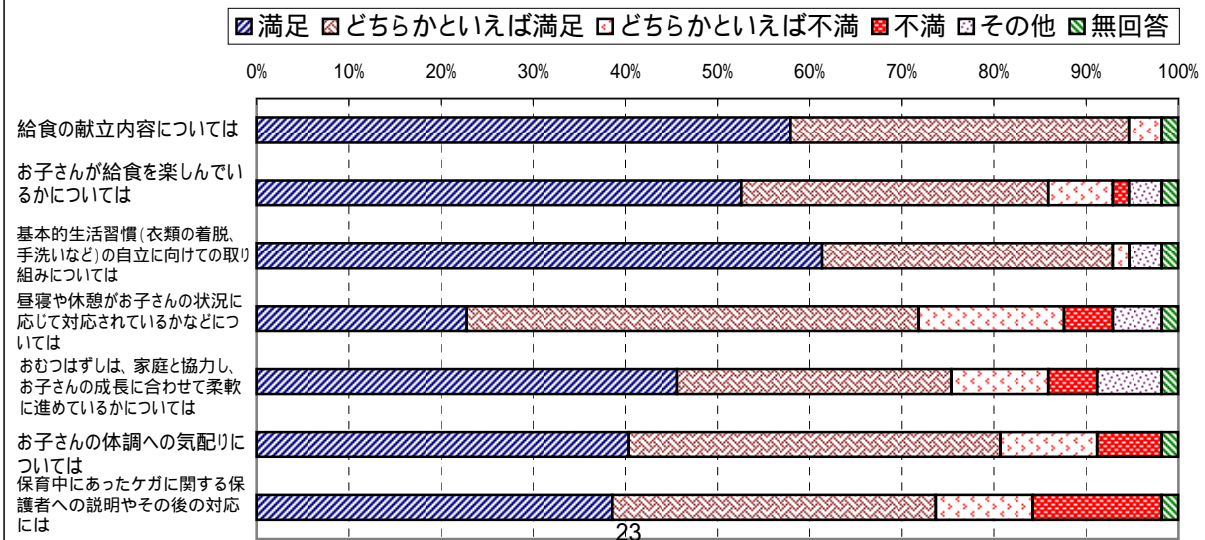
日常の保育内容「遊び」について



(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	57.9	36.8	3.5	0.0	0.0	1.8	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	52.6	33.3	7.0	1.8	3.5	1.8	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	61.4	31.6	1.8	0.0	3.5	1.8	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	22.8	49.1	15.8	5.3	5.3	1.8	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	45.6	29.8	10.5	5.3	7.0	1.8	100
お子さんの体調への気配りについては	40.4	40.4	10.5	7.0	0.0	1.8	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	38.6	35.1	10.5	14.0	0.0	1.8	100

日常の保育内容「生活」について



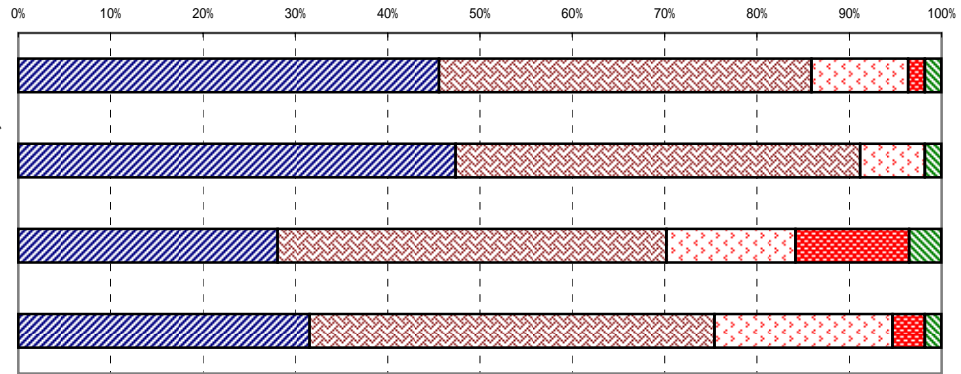
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	45.6	40.4	10.5	1.8	0.0	1.8	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	47.4	43.9	7.0	0.0	0.0	1.8	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	28.1	42.1	14.0	12.3	0.0	3.5	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	31.6	43.9	19.3	3.5	0.0	1.8	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



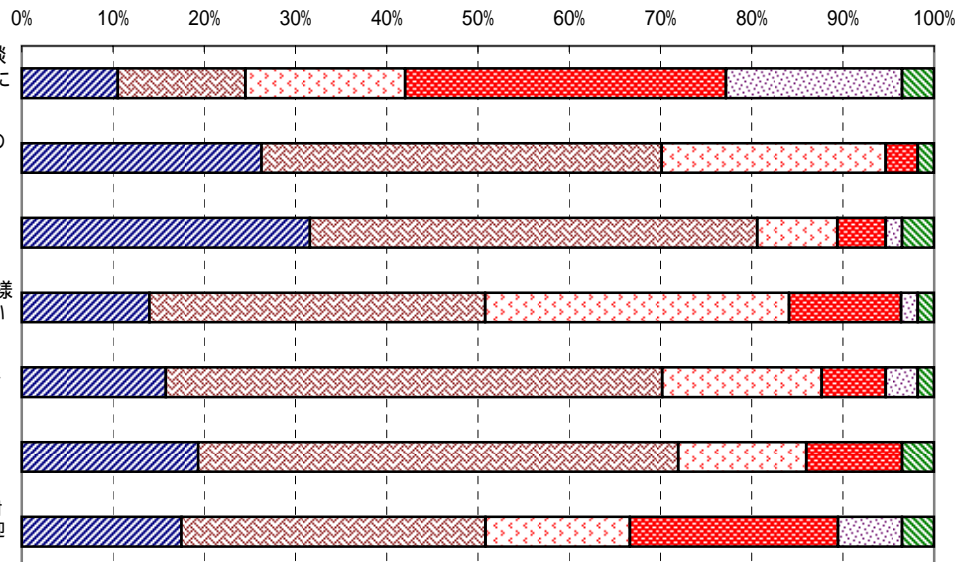
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	10.5	14.0	17.5	35.1	19.3	3.5	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	26.3	43.9	24.6	3.5	0.0	1.8	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	31.6	49.1	8.8	5.3	1.8	3.5	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	14.0	36.8	33.3	12.3	1.8	1.8	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	15.8	54.4	17.5	7.0	3.5	1.8	100
保護者からの相談事への対応には	19.3	52.6	14.0	10.5	0.0	3.5	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	17.5	33.3	15.8	22.8	7.0	3.5	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



問7 職員の対応について

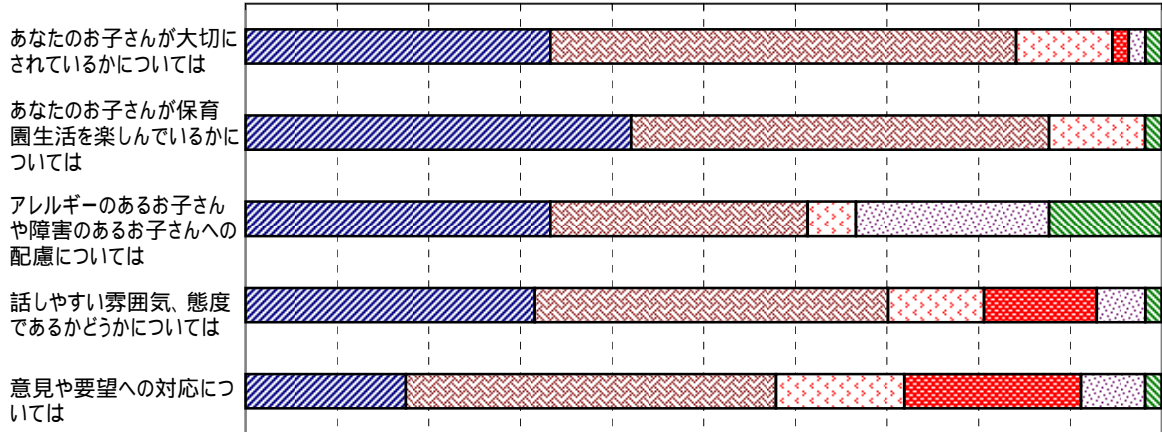
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	33.3	50.9	10.5	1.8	1.8	1.8	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	42.1	45.6	10.5	0.0	0.0	1.8	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	33.3	28.1	5.3	0.0	21.1	12.3	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	31.6	38.6	10.5	12.3	5.3	1.8	100
意見や要望への対応については	17.5	40.4	14.0	19.3	7.0	1.8	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

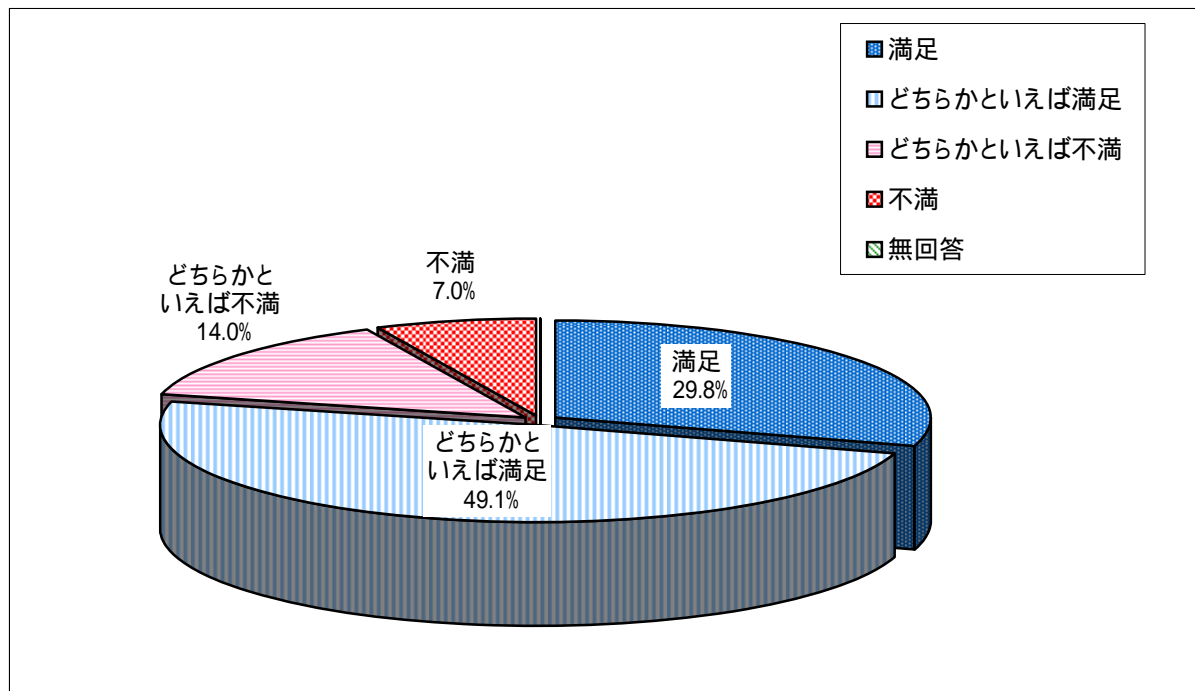
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	29.8	49.1	14.0	7.0	0.0	100



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 9月4日（金）9：00～18：00 9月8日（火）8：50～17：30

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

0歳児クラス

登園してくると、保護者は持参した荷物を決められた場所に入れながら、保育士と朝の様子など情報交換をしています。朝早く起きられたことを自慢そうに報告していたり、発疹の様子を保育士と確認したりする保護者の姿が見られました。

子どもたちは、「お片付けしましょう」と保育士の声かけがあると、保育士の歌に合わせて身体を動かす子どもや片付けを始める子どもがいました。

おやつ前後、散歩前後など頻繁にオムツの交換を行い、一人ひとりの排便の様子は、保育士同士で情報を確認しあっています。

食事は、テーブル付きの椅子に座わり、エプロンを付けて、スプーンを使える子どもは自分で食べます。食事は一人ずつトレーに分けられ、必要に応じて保育士が食事を促したり、介助したりしています。自分で食べられない子どもでも、周りの子どもの様子を見てスプーンを欲しがするような仕草を見せると、保育士はスプーンを用意するなど、子どもの様子を見ながら、食べる意欲を大切に支援しています。

1歳児クラス

このクラスの朝の自由遊びはブロックです。保育室にゴザが敷いてあり、その上で遊んでいます。9時になると朝の放送が流れます。放送が終わると保育士は「お片付けの歌」を歌いながら、子どもに声を掛けて片付けていきます。片付けが終わると、「壁にペタンして」という保育士の声に、子どもたちは横一列に壁によりかかって並び、手遊び歌で上半身を動かして遊んだあと、保育士が読む絵本を聞いています。

朝の会では、保育士が一人ひとり名前を呼ぶと、子どもは「ハイ」と答えます。子どもは自分でそれぞれの濡れタオルで手と顔を拭き、仕上げを保育士が手伝ってもらおうと、挨拶をしてから、朝のおやつを食べます。

おやつ後は一斉にトイレに行きます。トイレの中で2名の保育士が、トイレの近くで1名の保育士が支援しています。ほとんどの子どもがトレーニングパンツか綿のパンツをはいています。

散歩では、子ども3～4名に保育士がひとり付いています。子どもは内側を歩き、保育士は前後の自転車の往来をお互いに声を出しながら注意し合い、横断歩道を渡る時は、子どもと一緒に「ピッピ」と言って渡ります。

地域の人と出会うと、子どもも保育士も積極的に挨拶をしますが、地域の人から声を掛けられることも多く、殆ど全てのすれ違う人と言葉を交わしていました。目的地の公園に着くと、まず、「おやくそく」を聞いてから、スベリ台を保育士と滑る子ども、隣接する保育園の運動会の練習を見ている子どもなど、自由に遊んでいます。

帰り道は、子どもからリクエストのあった歌を歌いながら遊歩道を歩いていきます。子どもと保育士は給食の話など自然に会話しています。また、保育士は「いつも公園から出ようとする子」「帰りたがらない子」など、一人ひとりの子どもの特性を認識しており、声を掛け合いながら連携して対応しています。

2歳児クラス

このクラスの朝の自由時間は、カーペットの上でままごと遊びをしています。お鍋で調理をしてから器に盛ったり、お弁当のようにカゴの中に詰めたりしています。

朝の放送終了後に、保育士が、「今日はウサギ組さんは、何をするの?」と問いかけると、大きな声で「運

動会の練習」と答えています。放送もしっかりと聞き、その内容も理解しています。

放送が終わり、保育士がおもちゃ箱を用意すると、子どもたちは進んでおもちゃを片付け、保育士の「ガチャンピー」の掛け声で、電車のように並んで前の人の肩に手を掛けトイレまで行きます。既に、子どもたちは運動会気分、保育士の「イチ、二、イチ、二」という掛け声に大きく手を振って行進しています。

トイレに着くと自分でパンツを脱いでトイレを済ませ、手を洗い、パンツとズボンをはきます。一人でできないことは保育士のところへ行って、手伝ってもらいます。

給食の時間には、椅子に座って自分のお手ふきで手を拭くと、お手ふきをたたんでテーブルの真ん中に置き、配膳が終わるまで静かに待つことができます。保育士のピアノに合わせてお祈りをしたあと、楽しくおしゃべりしながら自分で食べます。残りが少なくなると保育士に「あつまれ」をしてもらい、最後まできれいに食べています。なかなか進まない子どもには、時々、保育士がスプーンで一口食べさせて、食べるように促しています。

食事が終わると、自分で歯ブラシとコップを用意して、自分の席で歯磨きをします。終わると保育士のところへ行って仕上げ磨きをして貰い、流しでうがいをします。

3 歳児クラス

朝登園すると、どの子どもも担任の先生と入り口で手と手を合わせてハイタッチをして、「先生おはようございます」と元気に明るく挨拶をしています。

子どもは自分の荷物を片付け、出席ノートにスタンプを押し、体操着を出して着替え、紅白帽子をかぶって外へ出ます。

このクラスの朝の自由時間は、園庭のジャングルジムで殆どの子どもが遊び、数人が小屋の中で遊んでいます。9時の放送が始まると、子どもたちはウッドデッキの端に揃って座り、静かに聞いています。放送終了後、しばらくして、保育士が笛を吹き、部屋に入るように声をかけるとぱらぱらと部屋に入り、順番に手洗いをし、自分の椅子をとって、テーブルに着席します。

保育士が、「絵本読んでいて～」というと、用意のできた子どもは、自分のロッカーから絵本を取り出し読み始めます。しばらくして、保育士が読み聞かせを始めましたが、まだ手を洗っている子ども、おしゃべりしている子どももいます。絵本が終盤にさしかかる頃、全員が着席し、絵本の読み聞かせに集中することができました。

運動会の歌の練習では、椅子をきちんとしまって、両手を後ろに組み、元気に歌っています。待ち時間に保育士が始めた「おーちたおちたゲーム」は、子どもたちが大好きでとても盛り上がっていました。

給食の時間は、保育士が取り分けた物を当番が配膳していきます。これを待つ間、子どもたちは、椅子に座りとても静かに待っています。配膳が終わるとお祈りをし食べ始めます。この日の給食はチーズカレーで、子どもたちは沢山お代わりをしていました。

4 歳児クラス

子どもたちは、登園してくると、一人ずつ挨拶しながら、保育士とハイタッチをして、保育室に入っていきます。保育士はその後、保護者と簡単に話しをして「行ってらっしゃい」と保護者を送り出しています。

子どもたちは敷いてあるゴザの上で各自体操服に着替えます。体操服のシャツはどの子どももしっかりズボンにしまっていて、肌着が出ている子どもなどはいませんでした。

自由時間の遊びはブロックと、ドミノです。ドミノは木で出来ているため、積み木のようにして子どもたちは遊び、ブロックでは「お弁当箱」を作るのが流行っているらしく、どの子ども色とりどり、大きさも色々の「お弁当箱」を作っています。レンジャーごっこをしていた子どもたちがエスカレートしてもめ始めると、保育士が中に入り、子どもの腕を取って話しかけていました。

保育士が「3の時間になったらお片付けしようね」と声をかけると、子どもたちは保育室の掛け時計を目で確認しています。「3の時間」とは、時計の15分(この時は9:15)のこのことです。

片付けが終わると、一斉にトイレに行き、上履きを履いてそれぞれ椅子を出して着席します。当番の子ども4人が前に出て、「先生おはよう、皆さんおはよう～」とみんなで大きな声で歌います。

当番は、給食のメニューを発表し、食育のためのキルトマットにメニューの素材をかたどったマジックテープのついたアップリケを貼っていきます。例えば、「ごはん」は「ちからがでる」という場所に当番が貼ると他の子はそれを見て、合っているかどうか答えています。

5 歳児クラス

評価調査の日は運動会が近く、殆どの子どもたちが朝登園してくると体操着に着替え、押し入れから、大太鼓、小太鼓、鉄琴、キーボード、指揮棒、鍵盤ハーモニカを用意して、鼓笛と鍵盤ハーモニカに別れてそれぞれ自主練習を始めます。

保育士が、2つのチームに順番に、細かい手の動き、タイミングなどを指導したあと、最後に全体をあわせて演奏して終了しました。まだ練習を始めて1週間程度ということですが、殆どの子どもが覚えていました。毎年、運動会で上のクラスのお兄さんやお姉さんの演技を見ているので既に覚えてしまっているようです。

練習が終わると、各自テキパキと片付け、押し入れの前に自分の楽器を持って順番に並び、中にしまいきます。次に協力して机を部屋の端に重ねていきます。

片付けが終わると、保育室内で運動会の練習についての説明があり、子どもたちは、「気を付け」「前習え」「直れ」と、保育士の掛け声にあわせてテンポ良く整列します。

外に出ると、園庭の隣にある市民活動支援センターの広場で3歳児から5歳児まで合同の練習が行われました。入場、宣誓、挨拶の練習の後は駆けっこの練習で終わる予定でしたが、子どもたちはリレーの練習もしたいと保育士にねだってリレーの練習もしました。

練習の後は、広い原っぱで自由遊びの時間となり、ツタを拾ってきて大縄跳びをする子どもたちやバツやチョウを追いかける子ども、草花をとって楽しむ子どもと、自由に伸び伸びと遊ぶ姿が見られました。

まとめ

登園時に子ども一人ひとりが保育士とハイタッチをした後、保育士は保護者と向き合い、挨拶をしたりハイタッチをするという丁寧な引き渡しがあり、家庭から保育所への意識的な切り替えが出来ている様に感じられました。

子どもたちは、集団遊びの中で、友だちと遊ぶ楽しさだけでなく、ルールや技術を確実に身につけています。また、生活習慣がしっかりと身につく、席を立つときは椅子を必ずしまう、待っているときには手を膝に置いて静かに待つなど、メリハリのある園生活を送っています。

事業者意見

昨年、第三者評価機関の説明会等に参加させていただき、保育園としてどのような取り組みを行っていかねばいけないかなど、考え悩みました。

当園として、どのような評価をされるか不安がありましたが、先延ばしより現状を把握しつつ、明日の子ども達のためにより良い保育園づくりの方法を見出していくために評価機関に依頼することを決めさせて頂きました。

全職員が参加して評価項目等の説明を受け、話し合いの回数を重ねて参りましたが、職員の入れ替えがあり、つまづきながら話し合いを重ね、自らの仕事への見直し、職種別の仕事内容も把握しながら共通認識をもち、自分達がやっている保育が子ども達のみならず保護者の皆さんに喜んでもらっているのか気になっておりました。

今まで使用していた、マニュアルを見直し、更に必要と思われるものを新たに作成し、職員に周知し、保育室の整備、保育内容に関してもより良くなるような話し合い、実行を伴う行動が出来るようになってきました。

保護者アンケートの課題点を謙虚に受け止め、行動を取っていきたいと思います。

本園を高く評価していただいた点は更に充実させ、より良い保育内容になるよう努めていきます。

評価結果をいただき、受審して良かった、見直し、飛躍、更にさらに子ども達のためにより良い保育を目指し努力致して行きます。

私たちに気づけなかった課題、良さを拾い出してくださった、市民セクターの皆様へ感謝申し上げます。

園長 寺田 隆昭

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価・改善事業ユニット

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
